

令和5年度匝瑳市後期高齢者医療特別会計決算の概要

市民課保険料班
0479-73-0086

令和5年度の後期高齢者医療特別会計決算は、歳入が前年度比3.1%の増、歳出が2.6%の増となりました。その結果、実質収支額は598万8千円の黒字となりました。

1 令和5年度後期高齢者医療特別会計決算収支の状況

令和5年度の後期高齢者医療特別会計の決算は、歳入が前年度比3.1%増の5億3,595万8千円、歳出が前年度比2.6%増の5億2,997万円となりました。

その結果、令和5年度の実質収支額は、598万8千円の黒字となりました。

(単位:千円)

区 分	R5年度 ①	R4年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
歳入総額 A	535,958	519,748	16,210	3.1%
歳出総額 B	529,970	516,511	13,459	2.6%
歳入歳出差引額 C=A-B	5,988	3,237	2,751	85.0%
翌年度へ繰り越すべき財源 D	0	0	0	—
実質収支額 E=C-D	5,988	3,237	2,751	85.0%

実質収支額の推移

(単位:千円)

年度	R元	R2	R3	R4	R5
実質収支額	1,630	1,755	1,505	3,237	5,988

2 歳入決算

(単位:千円)

区 分	R5年度 ①	R4年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
後期高齢者医療保険料	374,439	366,515	7,924	2.2%
繰入金	142,578	136,563	6,015	4.4%
繰越金	3,237	1,505	1,732	115.1%
諸収入	15,704	15,165	539	3.6%
計	535,958	519,748	16,210	3.1%

《主な増減要因》

(1) 後期高齢者医療保険料

被保険者数の増加に伴う保険料賦課額の増加

(2) 繰越金

令和4年度後期高齢者医療連合納付金の歳出予算超過(未納付)分を支出するための繰越処理

〈人口、被保険者数の状況〉

(単位:人)

区 分	R5年度 ①	R4年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
人口	33,594	34,140	△ 546	△ 1.6%
75歳以上の高齢者人口	6,773	6,548	225	3.4%
被保険者数(障害認定者含む)	6,701	6,510	191	2.9%

※人口、75歳以上の高齢者人口及び被保険者数は年度末の数値

3 歳出決算

(単位:千円)

区 分	R5年度 ①	R4年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
総務費	26,223	26,477	△ 254	△ 1.0%
後期高齢者医療広域連合納付金	487,919	475,109	12,810	2.7%
保健事業費	15,464	14,561	903	6.2%
諸支出金	364	364	0	0.0%
計	529,970	516,511	13,459	2.6%

《主な増減要因》

(1) 後期高齢者医療広域連合納付金

保険料徴収額の増加による納付金の増加

(2) 保健事業費

健診受診者の増加

〈医療給付費の状況〉現物給付(医科、歯科等)

(単位:円、件)

区 分	R5年度 ①	R4年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
1人当たり医療費	726,605	719,249	7,356	1.0%
1件当たり医療費	29,222	29,076	146	0.5%
1人当たり受診件数	25	25	0	—

〈医療給付費の状況〉現金給付(高額療養費等)

(単位:円)

区 分	R5年度 ①	R4年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
1件当たり給付費	7,648	8,685	△ 1,037	△ 11.9%